

みずほCustomer Desk Report 2019/09/05 号(As of 2019/09/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.92
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	105.86	1.0973	116.19	1.2090	0.6763
SYD-NY High	106.45	1.1038	117.43	1.2258	0.6801
SYD-NY Low	105.83	1.0969	116.19	1.2082	0.6755
NY 5:00 PM	106.41	1.1035	117.43	1.2253	0.6798
NY DOW	26,355.47	237.45	日本2年債	-0.3000	▲1.00bp
NASDAQ	7,976.88	102.72	日本10年債	-0.2900	▲1.00bp
S&P	2,937.78	31.51	米国2年債	1.4349	▲1.81bp
日経平均	20,649.14	23.98	米国5年債	1.3206	▲1.30bp
TOPIX	1,506.81	▲ 3.98	米国10年債	1.4699	0.83bp
シカゴ日経先物	20,810	215	独10年債	-0.6775	2.70bp
ロンドンFT	7,311.26	43.07	英10年債	0.4900	8.50bp
DAX	12,025.04	114.18	豪10年債	0.9210	0.40bp
ハンセン指数	26,523.23	995.38	USDJPY 1M Vol	7.39	▲0.70%
上海総合	2,957.41	27.26	USDJPY 3M Vol	7.38	▲0.48%
NY金	1,560.40	4.50	USDJPY 6M Vol	7.35	▲0.30%
WTI	56.26	2.32	USDJPY 1M 25RR	-1.50	Yen Call Over
CRB指数	172.70	3.51	EURJPY 3M Vol	8.08	▲0.54%
ドルインデックス	98.45	▲ 0.55	EURJPY 6M Vol	7.89	▲0.43%

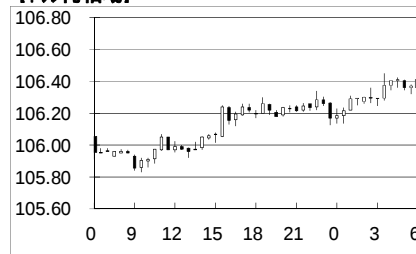
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月4日	10:30	豪 GDP(前期比/前年比)	2Q 0.5%/1.4%	0.5%/1.4%
	10:45	中 Caxinサービス業/総合PMI	8月 52.1/51.6	51.7/-
	16:55	独 マーケットPMI(サービス業/コンポジット)	8月 54.8/51.7	54.4/51.4
	17:00	欧 マーケットPMI(サービス業/コンポジット)	8月 53.5/51.9	53.4/51.8
	17:30	英 マーケットPMI(サービス業/コンポジット)	8月 50.6/50.2	51.0/50.5
	18:00	小売売上高(前月比/前年比)	7月 -0.6%/2.2%	-0.6%/2.0%
	21:30	米 貿易収支	7月 -\$54.0b	-\$53.4b

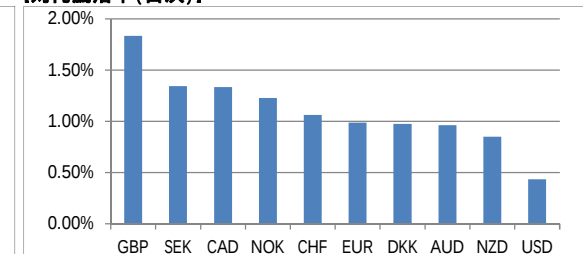
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月5日	10:30	豪 貿易収支	7月 A\$7000m	A\$8036m
	21:15	米 ADP雇用統計	8月 148k	156k
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 215k	215k
	23:00	米 製造業受注(前月比)	7月 1.0%	0.6%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	7月 2.1%	2.1%
	23:00	米 ISM非製造業指数	8月 54.0	53.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.90-106.90	1.0980-1.1060	116.80-118.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇。香港で逃亡犯条例が撤回されるとのヘッドラインが伝わったことや、英下院で10月末の合意なき離脱を阻止する法案が成立したことを受け、市場のリスクセンチメントが改善、ドル円は一時106.45円まで上昇した。

FRBが発表した地区連銀経済報告(ページブック)では、7月と8月の太宗で米景気は緩やかに拡大したと判断された。本日発表される米8月ADP雇用統計や米8月ISM非製造業景気指数などで米景気の底堅さが認識されることとなれば、投資家心理の改善が促され、ドル円は上昇推移となるだろう。

東京	東京時間のドル円は105.86レベルでオープンすると、前日の米8月ISM製造業景況指数の不振により米景気後退が意識される中、一時105.83まで下落。しかし仲値にかけて反発した後、人民元中心レートの元高設定や、豪4-6月期GDPの結果を受けた豪ドル円上昇、日銀片岡委員の先制的な緩和実施を主張する発言などに支えられ、ドル円は106円台まで底堅く推移。更に終盤にかけては、香港で逃亡犯条例の改正案が撤回されたとの報道を受けてアジア株が上昇する中、ドル円は一時106.25まで上げ幅を拡大し、106.24レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は106.24レベルでオープン。朝方より香港行政長官が逃亡犯条例の撤回を行うとのヘッドラインで香港株中心にリスクセンチメントが改善し円売り。一時106.30まで上昇。ただ値幅は限定的で結局106.22レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0978レベルでオープン。朝方発表のユーロ圏8月サービスPMIが予想を上回りユーロ買戻しの地合いの中でユーロドルが次期ECB総裁が緩和の副作用に言及するなど、市場の過度な緩和期待を牽制するとユーロ買いが強まり1.1024まで堅調に推移し、1.1015レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2116レベルでオープン。昨晚、英議会在離脱期限延期の審議に向けて英政府に勝利し、合意なき離脱懸念が後退したことポンドは終始買い戻される。一時1.2220まで買われ1.2198レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフィ00531 444 179 神田)
ニューヨーク	ドル円は106.22レベルでNYオープン。朝方は米7月貿易収支で、輸出が増加したが、輸入が減少し、赤字幅が予想以上に膨らんだがドル円の反応は限定的となった。その後は円売りが継続する一方、ドル売りも強まったことから、ドル円は106.13まで下押しする。午後に入り、米ベージュブックを受けたドル円の反応は限定的となるが、円売りを背景にドル円は106.45まで上昇する。その後は、英議会で合意ないレグジットを阻止する法案が成立したことからポンドドルが上昇する動きに、ドル円は上値を押さえられるものの、円売りにサポートされ、106.41レベルでクローズした。一方、海外市場でリスクセンチメントが改善したことや、独8月PMIが予想を上回ったこと等から、ユーロドルは買戻しが強まり、1.1015レベルでNYオープン。朝方はカルド次期ECB総裁が、「より長い緩和的なECBの政策が必要」と発言したものの、ユーロ売りには繋がらず、海外市場で強まったドル売りが継続したことから1.1033まで戻す。午後英議会の決定もあり、ドル売りが継続したことから、ユーロドルは1.1038まで戻し、1.1035レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・森谷